笑う門には福来たる

㈱日本交通社
発行人 光田秀之
☎089-946-3911

企画展
「真民さんのねがい（願い）」
令和６年２月25日まで
坂村真民記念館（砥部町）

明朗・愛和・喜働

時代を超えて

約一二〇〇年前に編纂された『万葉集』を、現代のＳＮＳ感覚の言葉で訳した『愛するよりも愛されたい』が、若い世代を中心に人気を博しています。

例えば、舎人皇子の御歌「ますらをや片恋せむと嘆けども醜のますらをなほ恋ひにけり」を親しみやすく訳したのが、「イケメンの俺が片想いなんかするかよｗっていってたけど　したわｗｗｗ」です。

著者は、もっと若い世代に『万葉集』に親しんでほしいという思いと、千年以上の時を超えて、万葉の人々と現代に生きる人の縁をつなぎたいといった思いから今回の「超訳」にチャレンジしたと言います。

仕事への思い入れが強くても、これまでの常識に縛られていては、新しい良いものは生まれません。本書は当初は売れると思わず、五百部しか発行しなかったようですが、版を重ね、今では九万部以上も出版されています。

物事の本質を突き詰めて、時にはこれまでの固定観念を取り払い、柔軟な発想で仕事に取り組みたいものです。

◆発想を柔軟にしてみましょう

「職場の教養」より

日本再発見！

しばれフェスティバル（北海道陸別町）

日本一寒いといわれる陸別町で1982年から行なわれている祭りである。例年、最低気温が氷点下20℃近くとなる２月第１土曜・日曜日の2日間にわたって開催され、人口約2200人の町に8000人ほどが訪れる。名物の「人間耐寒テスト」はバルーンマンションと呼ばれる氷のかまくらで極寒の一夜を耐え抜き、無事朝を迎えた挑戦者には認定証が与えられる。そのほか打ち上げ花火やステージショー、縁日なども用意されている。令和6年は中止となった。

保親さんの人生万感

柔らかき光の中に梅花咲き
命の息吹感じる季節に

米寿きて親しき友は黄泉に行き
少なき賀状寂しく読みて

人は一人では生きられない
衣食住、教育、交通、保健衛生……。誰もが他人の世話になり
助けられている。何か一つでも、誰かのために働こう。